

平成25年度のまちづくり



3月11日から開かれた、平成25年第1回町議会定例会において、池部町長は「平成25年度町政執行方針」として、今年度からスタートする南富良野町第5次総合計画の5つのまちづくりの目標を柱に、計画の実現に向けた町政推進の決意を述べ、町民皆様のご理解とご協力を呼び掛けました。

また、上林教育長は「平成25年度教育行政執行方針」を説明し、地域に根ざした教育行政推進の決意を述べました。

以下、町政執行方針と教育行政執行方針の内容をお知らせします。

南富良野町第5次総合計画 共に創る 笑顔で生き活き みなみふらの

- ◆次代へつなぐ活力ある産業のまちづくり
- ◆幸せに暮らせる健康と福祉のまちづくり
- ◆安全・安心・快適なまちづくり
- ◆学ぶ力・健やかな体・豊かな心を育むまちづくり
- ◆共に創造するまちづくり

はじめに

平成25年第1回南富良野町議会定例会の開会にあたり、町政執行への私の所信を申し上げます。

昨年4月に実施されました南富良野町長選挙におきまして、町民皆様のお力添えのもと、4期目の町政を担わせていただくこととなりました。それから、間もなく1年が過ぎようとしておりますが、あらためてその重責と使命感に身の引き締まる思いであり、平成12年4月の初当選時の気持ちを忘れることなく、決意を新たに誠心誠意その負託にこたえてまいる所存でございます。

私は、平成12年4月の町長就任以来「町民参加のまちづくり」と「行動する行政」を基本姿勢に掲げ、町政の運営に努めてまいりました。

就任当時は、国からの地方交付税が毎年大幅に削減される状況であり、町税収入の落ち込み、義務的経費の増加による財政の硬直化など、本町の行財政改革は待ったなしの状況でした。こうしたことから、

ら、行財政改革を最優先とし、不転換の覚悟で、身を切る改革をはじめ、身の丈にあった均衡予算の確立に努め、基金に依存しない財政運営など、持続可能な行財政基盤の確立に取り組みながら、町民皆々まのご要望にお応えするため、政策の選択と集中により、地域資源を活かした産業振興や大きく踏み込んだ少子高齢化対策、障害者の支援、雇用・生活・環境衛生の向上対策などについて、積極的に政策を展開することができました。

これも偏に、町民皆々まの町政に対する信頼と後押しがあったからこそその成果であり、心より深く感謝を申し上げます。

世界経済に目を向けますと、産業のグローバル化が進展し、各国の経済的結びつきが一層強くなる中で、欧州債務危機などの影響から、景気の回復は弱いものとなっております。国内景気においても、長引く円高・デフレ不況、東日本大震災の影響など回復が弱いものとなっておりますが、政府・日銀による大胆な金融緩和、機動的な経済対策により、

株価は上昇傾向にあるなど、一部に明るい兆しがみられております。

また、昨年は、アメリカ、フランス、ロシア、韓国など世界の主要国において、リーダーを選挙が行われる中、我が国におきましても、昨年末の衆議院議員総選挙において政権が交代し、自由民主党と公明党による連立政権となり安倍内閣が誕生したところでありますが、その経済政策により、国内の景気回復につながり国民の暮らしがどのように向上するのかが期待されています。併せて、成長戦略の推進、雇用確保、地方分権改革などの懸案課題の解決に取り組むとともに、早急に平成25年度予算を成立させ、自治体への影響を最小限とすることを望んでおります。

このような社会経済状況下においても、住民の方々の暮らしをしっかりと支えていくことが重要であり、その中心的な役割を担うのが、地方自治体であります。

こうした、地方自治の原点に立ち返り、私は、引き続き、効率的・効果的な行財政運営

を行うとともに、創意工夫を凝らしながら、住民生活を支える行政サービスを安定的に提供できるよう取り組んでまいります。

平成25年度は、今後10力年の「まちづくりの最上位計画」であります南富良野町第5次総合計画に基づく町政運営の初年度となる極めて重要な年であります。

今、本町を取り巻く環境は、長引く景気低迷による厳しい財政状況に加え、急速に進展する少子高齢化や地方分権への対応、社会保障費の増大、環境問題への配慮など、多くの課題を抱えております。

本計画は、これら課題解決のため町民参加のもと審議会などの創意を尽くし、議員の皆様さまをはじめ、多くの町民皆様のご意見をいただきながら、策定させていただきました。

社会・経済情勢の変化に対応し、全ての住民が幸せを感じながら、「住みやすい・住み続けたい」と思い、「住んでみたい」と思われるまちづくりのため、農林業・商工鉱業・観光などの地域産業の振興を

はじめ、保健・医療・福祉の充実、安全・安心・快適な生活基盤・生活環境づくり、次の時代を担う子供たちが健やかに育つ社会づくり、住民と行政が協働するまちづくりを目指し、持続可能な発展が図られるよう計画したところであります。

本計画におけるこれから10年間のまちの将来像を「共に創る 笑顔で 生き活き みなみふらの」と定めたところであり、「共に創る」とは、住民の支え合いと絆のまち、住民と行政の協働のまち、みんなで創るまち、「笑顔」とは、安全・安心・快適なまち、共育するまち、人を育むまち、幸せのまち、そして「生き活き」とは、活力のある産業のまち、元気な人・まち、豊かな自然のまち、チャレンジするまちをそれぞれ意味する言葉を組み合わせたキャッチフレーズであり、今後はこの将来像をまちづくりの合言葉として、着実な推進を図るとともに、地域主権時代にふさわしい、自主・自立の精神にあふれる新しいまちづくりの推進に努めてまいります。

今後の町政運営にあたりましては、町民皆々まとの対話と交流により、多くの声を聞き町民参加による町政推進に一層努めてまいることとし、元気で魅力のある南富良野町のまちづくりを町民皆々まや町内会、企業や各種団体等との協働により着実に進めて行かなければなりません。

また、町政の持続的発展には、健全な財政運営が必要でありますが、本町予算の7割を占める地方交付税の伸びも期待できない状況の中、今後とも簡素で効率的な行財政運営を行うため、更なる行財政改革を推進し、より一層の「選択と集中」による施策と事業の重点化に取り組み、町民皆々まの視点に立つたきめ細かな施策を展開し、南富良野町第5次総合計画の実現に向け全力で取り組んでまいります。

先人たちの汗と英知の積み重ねにより、幾多の苦難を乗り越え、積雪寒冷の厳しい自然条件とたたかひながら、未開の大地を切り開き、多くの人たちに受け継がれながら今日の南富良野町があります。

先人が築きあげてきた郷土「南富良野町」を更に発展させるために、町議会や町民皆々まとともに英知を結集しながら、現在直面している難局に立ち向かい、この先の将来を見据えたまちづくりを進めるため、全力を尽くしますの願いを申し上げる次第であります。

第5次総合計画の推進

それでは、南富良野町第5次総合計画「共に創る 笑顔で 生き活き みなみふらの」を将来像とした、まちづくりの5つの基本目標に基づいた主要施策について申し上げます。

次代へつなぐ 活力ある産業のまちづくり

まず、産業分野で、「次代へつなぐ活力ある産業のまちづくり」であります。

農業の振興

はじめに農業の振興であります。